



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL



C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE  
 503 Shinsaibashi Urbanite  
 1-5-12 Nishi-Shinsaibashi Chuo-ku  
 OSAKA 542 JAPAN

MARCH 1997. No. 9  
 The Service Club to the YMCA  
 Chartered September 25, 1982

## MOTTO (1996~1997)

- IP "Learn Implement Impart" 「学びと奉仕と分かち合い」
- AP "Restoring the Creation Order of God" 「天地の調和を取り戻そう」
- RD "New Regions and Forward" 「新リジョン! さあ前進!」
- DG "Y's First"
- CP 「進んで参画しよう。」



= 月間強調テーマ: 「Y A · Y E E P」

## = 3月の聖句 =

何事も利己心や虚栄心からするのではなく、  
 へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた  
 者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他  
 人のことにも注意を払いなさい。互いにこのこ  
 とを心がけなさい。それはキリスト・イエスに  
 もみられるものです。キリストは、神の身分であ  
 りながら、神と等しい者であることに固執しよ  
 うとは思わず、かえって自分を無にして、僕(しもべ)  
 の身分になり、人間と同じ者になりました。  
 (フィリピの信徒への手紙 第2章3~7節)

## — 3月第1例会 —

日時: 1997年 3月 19日 (水) 6:30 ~ 8:30 p.m.  
 場所: 大阪グランドホテル

司会: 山村 幸明 君

1. 開 会 点 鐘 栗山 佳三 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖 句 朗 読 田中 穰二 君
4. ゲ ス ト 紹 介 栗山 佳三 会長
5. 日々の糧及び黙 禱 一 同
6. 晩 餐 一 同
7. 卓 話 「YEEPと私」 坂本 哲朗 君
8. お誕生日祝い 一 同
9. ニコニコ献金 ドライバー
10. 役員会・委員会報告・YMCAニュース
11. 閉 会 点 鐘 栗山 佳三 会長

## = 3月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people.....  
 谷川 初 17日 鈴木君 26日

2月在籍者	2月出席者		2月出席率	BFポイント
25名 広義会員	メン	13名	76.0% (11キヤ7給)	2月分切手 541 gr. 現金 2,000 円
0名	メネット	6名	前月出席率	本年累計
合計	コメット	0名	修正 - %	切手 5,283 gr. 現金 34,700 円
25名	ビジター	3名		(別冊 "2月分BF給" をご参照)
	ゲスト	0名		
	合 計	22名	9名	

役員  
 会 長: 栗山 佳三  
 副会長: 秋月 利英  
 " : 山田 孝彦  
 書 記: 三浦 直之  
 " : 藤原 正巳  
 会 計: 津田 葉清政

◎2月ニコニコ献金  
 31,160円

◎3月第1例会当番: (第3班) 田中君, 山村君, 三浦君 坂本君, 平田君, 川越君

《今月の聖句によせて》

神の子キリストは自分の主張（すなわちそれは神のメッセージであるが）を人間社会に伝えるために、人間にわかる言葉、人間の行動を通して示そうとして、人の姿をとって、この歴史の中に存在された。

私たちはこれに見習い、人よりも一日の長があるからといって、（例えば、ワイズについて優しいとか、教会に所属しているとか、ある技能に優れているとか、年長であるとか等々）人を軽んじることがあってはならない。かえってその人の立場に立って（へり下って）謙虚に語りかけることによって、相手の人との親しい関係が作られるものだ。

クラブ内の和の醸成（それはクラブの活性化につながるが）、それは愛をもって互いに相手のことを思いやる心から生れるものだと思う。

（聖句撰・解説：黒田 巖之）

＝ 2 月 第 1 例 会 報 告 ＝

（2月19日（水）6:30p.m.）

角 正 信

今月の例会は、断食の月（タイム・オブ・ファースト）で食事はなしですが、コーヒー・ケーキとメネットからのサンドイッチの差し入れをいただきました。浮かした食事代は、日本区を通して奉仕活動の基金に捧げられます。

それにちなんで、「ボランティア活動（フィリピン、バギオを訪ねて）」のテーマで、山村利子メネットより卓話をいただく。

はじめにビデオで、マニラの北にある標高千五百メートルの高地にてカトリックのシスター、テレシア・海野の奉仕活動を紹介。現地日本人社会で、日系フィリピン人への支援へ。第二次大戦以前からの移民の人たちは、山道の険しいケノン道路建設に勤勉に働くなど現地に溶込んでいましたが、大戦で、日本、フィリピン社会から引き裂かれ、虐殺や逃亡のなかで苦勞したといわれます。シスターは、第2の人生をバギオの日本人社会への奉仕に捧げ、苦難に苦しむ日系フィリピン人の心の支えとして、日本国内のボランティア活動の輪を広げながら、生活相談から奨学金、そして農業協同組合まで数々の支援を。残念ながらシスターは、癌で召天されましたが、若い日系人や日本のボランティアたちにバトンが渡されています。「生きがいを感じつつ共に生きる」ことの大切さが胸に迫りました。

山村さん自身も、バギオを3回訪問し、「豊中からし種の会」というボランティア団体を発足させて、毎年恒例になったバザーなどを通してフィリピンへの支援活動を続けられています。 /



（フィリピンへの支援活動を熱心に語る山村メネット）

また山村さんは、昨年イタリア・アッシジの聖フランシスコ会修道会を訪問し、「誰からもかえりみられない人びとへの愛」の奉仕を確信されたそうです。その「聖フランシスコの祈り」が、「なかのしまワイズ」のチャーターナイトで聖歌隊が讃美したことに、感激されたとか。

私たちも「一人ひとり出来ることから始める」奉仕の原点を確認し、実践していきたいものです。

＝ 2 月 第 2 例 会 報 告 ＝

（2月26日（水）6:30p.m.）

三 浦 直 之

1. アジア大会開催の件：

10月17日（金）-19日（日）於 韓国濟州島 濟州学生会館  
登録費：US\$295（宿泊費を含まず）  
登録締切：7月31日 参加者：800名うち東西日本区より250名を目標とする。参加申込の案内あり。

2. センテニアル1泊研修会の件：

開催日：第1候補 4月26日（土）-27日（日）  
第2候補 4月19日（土）-20日（日）

場所：兵庫県国際交流会館（須磨）を候補として、  
藤原正巳君に予約の手配を依頼する。上記が予約できない場合は別途他の場所を検討する。

3. 3月度例会プログラム：（別掲の通り）

4. 4月度例会プログラム：（4/16、1.T強調月間）

角正信君に“YMCAの1.Tについて”卓話を依頼する。

5. センテニアル次期事業委員および委員長選出の件：  
各自希望する委員を“3月度例会出欠票”の葉書で連絡して貰い、それに基づいて協議決定する。

6. YMCA神戸復興資金提出の件：

日本区からの要請では、@¥1,000x人数x毎月、3年間であるが、当クラブは既にYMCAを通じて提出しているため、年度末でその差額を精算して追加提出することになる。本件検討する。（以下次頁へ続く）

## 7. その他

- ① EF提出の件：  
例えばなかのしまクラブチャーター記念等として、  
予算状況を見て提出することを検討する。
- ② 次期中西部CS・TOF事業主査に栗山佳三君決定(2/8)
- ③ 次々期中西部長の件： (議談)  
選出に際し当クラブに打診があったが、本来の順番  
のことを考え、本件は保留とする。
- ④ チャリティランを5月または6月に行う予定。
- ⑤ 河村主事よりYMCAサービス支援プログラムが会長・  
会計宛に提示された。
- ⑥ 河村主事が4月で異動されることになり、後任の  
連絡主事として、神田尚人氏がなされる。(河村主  
事には、短期間ながら種々有難うございました)
- ⑦ アフリカ・ナイロビサウスクラブ8月来日の件：  
鳥取クラブ訪問、大阪にも立寄る予定連絡あり。\*

### 第3回 中西部評議会議事内容(抜粋) (2月8日(土)於 大阪西YMCA)

1. 西日本区の事業主任は従来の6名から8名に増員、  
各部の事業主査も次期から8名選出する。
2. 神戸YMCA復興資金について：  
@¥1,000x人数x毎月を各クラブから送金するこ  
とになっているが、実行しているか確認のこと。  
\*(センテニアルはYMCA協力基金として震災復興募金  
500,000円を期首予算に計上済みの筈)。
3. YMCA協年会費：各クラブ会長は連絡主事と連携し  
て会費完納に努力されたい旨要請あり。
4. チャリティランについて：目下進行中、連絡主事  
の体制も流動的。近々新しい対応を各クラブ会長  
に連絡の予定。チャリティランは5～6月に実施  
予定。実行委員会の前に運営委員会を作り、実行  
大綱を決めてから各ワイズに流す予定。
5. 次年度役員 会長 部主査  
大阪 尾和 信孝 (BF) 北村 知三  
土佐堀 藤川 豊基 (銅餅鉄魁) -  
豊中 横井 時久 (メット) 松田 洋子  
千里 井上 巖 (EF・JF) 石川 修  
枚方 藤田 義夫 - -  
高槻 川岸 清 (EMC) (葎)  
センテニアル 藤原 正巳 (CS・TOF) 栗山佳三  
西 谷 正一 (YF・ASF) 吉村 周平  
茨木 (葎) (YEPP・STEP・YIA) (葎)  
セントラル 則武 秀尚 (IBC・DBC) 宇都宮垂徳  
なほほ 杉浦真喜子 - -
6. アフリカ・ナイロビサウスクラブの来日について：  
8月鳥取クラブを訪問するので、大阪も訪問した  
いと連絡あり。歓迎会等よろしく願いたい。

## 7. 国際役員について：

- IPE (98-99) Erick Kim (USA)  
ITE (98-99) Hong Kwon Sik (Korea)  
ICM (97-99) Chow Wing Ping (Hong Kong)  
Choi Young Il (Korea), Kim Ji Yeul (Korea)  
奈良 昭彦 (日本), 中村 次郎 (日本)  
Asia Area ICM 構成  
Korea : 3, Japan : 2, HK : 1, SL : 1, T : 1

## = BF 2 月度報告 =

(2月度の合計・本年度累計は第1面に掲載)

### ○切手提供者：

角 君, 谷川君, 鈴木君, 津田葉君, 三浦君,  
隅田君, 田中君, 柴田君, 福永君, 栗山君,  
山田君, 秋月君, 山村君 計13名

### ○現金提供者：

栗山君, 山田君, 山村君 計 3名  
(BF 山村 幸明)

## YMCA ニュース

大阪YMCA 河村 実

### ●YMCAスプリングキャンプ募集中

春休みを利用して、幼少年～中高校生を対象にY  
MCAスプリングキャンプが3月末に実施されます。  
新潟・長野・北海道の各地でスキーを中心としたプ  
ログラムが展開されます。

お問い合わせ、お申込はお近くのYMCAまで。

### ●水と緑を守る市民の集い(公園シンポジウム)

地球環境にとってかけがえのない森林資源が、年  
年減少の一途をたどっています。もうこれ以上森林  
の荒廃は放置できません。清らかな川を取り戻し、  
上流の森林を守るため、今こそ市民の協力と支援が  
必要です。そこで南大阪地域で自然環境の保全活動  
に取り組んでいる市民グループ・団体・企業・個人  
の方々を対象に市民の集いを開催します。関心のある  
方は、ぜひご参加下さい。

### プログラム：

・基調講演「市民が支える上流の森づくり」

講師：奥野寿一氏 河内長野市森林組合専務理事  
・パネル・ディスカッション「事例報告と討議」

コーディネーター：滝口敏行氏 大阪YMCA森  
林ボランティアの会

日時：4月19日(土)午後1時30分～5時

会場：堺勤労者総合福祉センター (JR堺市駅下車)

対象：一般市民(含・学生)300名 参加費：500円

申込・お問い合わせ：

「水と緑を守る」市民の集い事務所 大阪堺YMCA内

☎0722-58-1881 FAX 0722-57-7893



(大阪なかのしまクラブチャーターメンバーの顔々)

最後に、2年半もの長い間、気長に私たちにつき合って下さり、大事に育てて下さいました親クラブセンチアルのみなさまに、心から感謝したいと思います。さらに暖かく見守って下さいました、中西部のみなさま、そして今日ここにお集まり頂き、私たちの出発を祝って下さいました日本中のワイズの方々に心からお礼を申し上げたいと思います。

どうぞ、これからもよろしく願っています。

Y's Women's Club

「大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ」  
加盟認証状伝達式における杉浦眞喜子会長ご挨拶

今日は、お忙しいなか、またお寒いなか、私ども「なかのしま」クラブのチャーターナイトにご出席頂きまして、ありがとうございます。

先ほど、吉田日本区理事より、加盟認証状を頂き、私たちは、今新しいクラブとして、一人立ちが出来ました。

設立総会の時にも申し上げましたが、私たちは、大阪YMCAの国際協力プロジェクト「ミャンマーでの縫製指導」に協力することを通して「ミャンマーの女性の自立を助きたい」という大きな願いを持っています。そのために、私たちに出来ることを少しずつ模索し、実行出来ることは実行していこうと今具体的な計画を立てているところです。

とは言うものの、私たち、ここにいる25人のクラブに対する思い、期待は、かならずしも一つではありません。先ほどの第一部の礼拝の中の「みんなの祈り」に象徴されるように、多様な願い、思いを持っています。私たちは、それぞれが、そんなお互いの思いを大切にし合う仲間になれたらと思っています。

私は、クラブ標語を「響き合う心と心」といたしました。メンバー一人一人が、心を響き合わせて共に歩んでいきたい、そして、そうしながら、周りのワイズの仲間とも心と心を響き合わせることが出来たら・・・、さらにミャンマーの、アジアの女性とも心を響き合わせることが出来たら・・・、そんな願いを持って掲げた標語です。

そして、ほんとうにそれが出来る時、私たちはワイズの一つのクラブとして、「ああ、あのクラブが出来てよかった」とみな様に言っていただけるクラブになれるのではないかと考えています。

「大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ」  
加盟認証状伝達式における栗山佳三会長挨拶

今日は、私共がスポンサークラブであります「大阪なかのしまクラブ」の国際加盟認証状伝達式のために、東は東京から西は熊本まで、皆様大変お忙しいところ、たくさんの方々にお運びいただきまして誠に有難く、心からお礼を申し上げます。

また、設立総会以来、国際登録や諸々の問題につきまして、日本区理事を始め、諸先輩からご助言、お骨折りをいただき、今日ここにとどきおこりなく認証状伝達式を迎えることが出来ましたことにつきまして、心から感謝を申し上げます。

さて、「大阪なかのしまクラブ」は、設立を決心してから今日まで、足掛け4年を要しております。

この間、阪神大震災によるメンバーの被災など、数々の出来事がありました。彼女達のクラブ設立にける熱意は消えることなく、地道な努力を重ねて、今日ここに25名のメンバーをもって認証式を迎えることになりました。

新クラブにつきましては、女性の目から見た切り口でワイズ活動に新しい風を吹き込んでいただけるものと、私共は期待いたしております。

スポンサークラブであります大阪センチアルクラブも、全面的にバックアップいたしてまいります。どうか今日お越しの皆様方におかれましては、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、日本区、中西部をはじめ、各クラブの皆様から色々ご教示を賜り、また暖かいご支援を頂戴し、本当に有難うございました。

今日、ここに新クラブ「大阪なかのしまクラブ」の認証状伝達式を迎えましたことをもちましてお礼に代えさせていただきますと存じます。

「英国ワイズとの一日」

—— ブリストルのクラブ訪問 ——

谷川 寛

去る2月7日から3日間、スイス・ジュネーブで世界Y M C A同盟の財務委員会が開かれました。途中、ロンドンに立ち寄り、現在イングランドにある二つのワイズの一つ、KINGSWOODクラブを訪問しました。場所はロンドンから西へ車で2時間半の距離にあるBRISTOLです。

英国は以前からワイズはあまり盛んではありません。現在、英国のワイズを支えているのは、NORMAN CULLIMOREさん、と限られたメンバーたちです。このクラブは現在26名の会員を有しています。メンバーの多くが60才台です。大半のメンバーが時間にして30分以内の距離に住んでいます。私はノーマンさんとは20年以上の付き合いで、毎年クリスマス・カードには、何時来てくれるのか、とあり、今回やっと訪問が実現した次第です。以前、国際議員であった頃、彼とスコットランドと一緒に訪問したことがあります。

彼のお宅で宿泊した夜は、クラブのメンバーの大半が、私のために集まってくれました。話題の中心は、阪神大震災、トヨタの社長のEJ進出発言、5月末に行われる英国総選挙、等等でした。どんよりした英国特有の冬空下でも青々とした緑の芝生を見ながら、一泊の滞在と英国のホスピタリティを楽しみました。

五月2日/3日に

香港ワイズの大記念例会

— 3クラブ合同の祝会 —

香港ワイズからの案内が到着しました。

香港クラブの65周年、丸亀クラブの45周年、ピクトリア・クラブの35周年を同時に来る5月2日/3日に香港で開催するとのご案内です。3つのクラブがいっしょに記念会をするので、是非、海外のワイズも参加してほしいとの依頼です。どなたか参加しませんか。

5月2日の夕食会はアバデーンのプロテング・レストランであり、海外の代表は無料招待です。その他観光プログラムも用意することです。是非、参加しませんか？

私が、3月中旬に再度、香港を訪問しますので、その時に、大阪センテニアルからの出席者があれば、教えてほしいとのことです。

(谷川 寛)

ボヒニア (BOHINIA) の花が  
香港のシンボルに

最近の日経新聞によると、7月の香港返還に伴い、今まで使われていた英国の王冠のシンボル・マークが、従来香港の花とされ、私たちのブラザー・クラブのシンボル・マークのボヒニアの花に、代わり使われるそうです。

下図の記事、およびボヒニア・クラブのレター・ヘッドをごらんください。3月香港訪問の折、是非この小旗を見てみたいと思います。(谷川 寛)



王冠から紫荆花に

5日、香港の屋台に並べられた返還後の特別行政区旗に使われる紫荆花をあしらった小旗などのグッズ=AP

Y's Men's Club of Bauhinia

紫荆聯青社

10 CHINESE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION  
23, WATERLOO ROAD  
KOWLOON



CHARTERED 1979

関西いのちの電話 公開講座

盛況の内に終わる

2月15日関西いのちの電話第14回公開講座がJR西九条近くのクレオ大阪西で、講師に野田正彰氏、京都造形芸術大学教授を迎え「今、人間関係は」という主題のもと開催されました。

当日は天候にも恵まれ、有名な先生であることも手伝って、人気は上々入場券前売りも好調で、当日券も電話予約等多くの申込みがあり、満席で開催することが出来ました。

講演内容は、電話相談員を対象に現代の青少年を意識した講演が行われました。

Y'sの関係者にもチケットの販売では大変お世話になり、また、当日も多くの方に参加していただき、有難うございました。お陰様で、盛況に終わることが出来ましたことを感謝しご報告いたします。

(文責 津田 葉)

= インフォメーション =

～メネットからの贈物～

私のボランティア活動（豊中からし種の会）

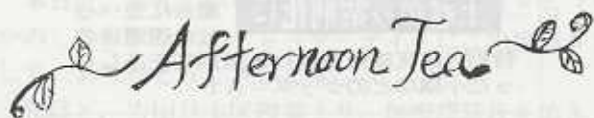
中村 幸枝

「なかのしま」チャーターナイトはメネットのお手伝いありがとうございました。全国各地からの懐しい人達にもお会いできて、ワイズの素晴らしさを感じました。2月例会でも杉浦会長より改めて、（お別れ）とお礼のお言葉がありました。

これからもセンテナルのメンのお手伝いをするのと同じように、「なかのしま」のお手伝いができたら・・・とメネット一同考えております。

山村メネットがやはり2月例会で、「バギオ市を訪ねて」という題で卓話をして下さった中の、「できることからやればいいんですよ」という言葉に、ボランティアへの想いを新たに致しました。

※ 杉浦さんより、メネット会に「感謝」として、金一封頂きました。



鈴木 美藤

昨年11月予期も致しませんでした謙介メンが突然病気になる、以来二ヶ月入院致し、去る1月17日「奇しくも大地震の日」退院でき、只今はほとんど完治し、日常生活に戻って楽しく過せるようになりましたことは、ワイズの多くの友のお祈りとお支えとがあったことによるものと、厚く感謝しております。

2ヶ月間毎日病院で暮らした夫の思いは、いかばかりだったかと、深く思いをいたしつつ毎日病室通いをして付添いに励んだ私も、初めのうちは、とても心配する毎日でしたが、そのうち病気そのものの見通しが判明してきて、心やすらぐことが出来ました。

これらの間、夫も私も時折静かな時間を持ち、ものを考えることが出来たのは幸せでありました。これらの時間と云うものは、すべて神様を強く信じ、すべてを神様のみ心のままにと一生懸命に祈り、感謝することが出来ました。

私自身、女学校時代に洗礼を受け、ずっと教会に連なり、YMCA、Y'sに夫と共に参加し、多くのことを学んできたことは大きな力となりました。

3人の子供達が全部YMCAで育ち、揃ってワイズメンとなって、皆様と共に思いを一つにする喜びを嬉しく誇りに思っているところでございます。

近情を報告して、皆様の友情に厚くお礼申し上げます。どうぞ御健康第一にお祈りしております。

山村 利子

海野シスターの活動に少しでもお助けできればと、「豊中からし種の会」が1982年に発足しました。豊中緑丘の日本聖公会東豊中聖ミカエル教会の集会室をお借りして、3人の主婦ではじめました。衣類・雑貨を集めるのも又経済的な事でも大変でした。そのため地域の新聞に載せてもらい、教会・サービスクラブではお話しをさせていただきました。そして全国から衣類・雑貨又寄付金が寄せられるようになりました。

外国への輸送の仕方はいろいろありましたが、郵便局を通してが一番安全なことでした。ところが当時の郵便局のサービスは悪く、役所的で、荷物もこちらから運びいろいろな交渉も大変でした。

ダンボール箱は近くのスーパーにもらいにいたり、会員の家族の会社の箱をもらったり、サービスクラブの会員の箱屋さんでいただいたり、荷物の梱包も女だけでは大変で、地元のボーイスカウト、会員の男の家族に応援をしてもらいました。此のように皆さんの善意のご支援ではじまりました「豊中からし種の会」も今では会員も増え20名になり、教会の人だけでなく地域の人達のコミュニティの場として共に作業をし、奉仕活動をしています。

作業は週一回火曜日に手介当で、全国から送られてくる荷物の仕分け、バザーの準備、バギオだけでなく、ブラジル5ヶ所、ザンビア、国内では日本衣料救援センター、老人ホーム、又、ユニセフその他必要とされる所があれば送っております。阪神・淡路大震災被災地にも役立つ物を送らせてもらいました。

送るには輸送費が必要です。昨年は約215万円、又、大学生2名に奨学金を日本円にして大学生一年間6万円学費がかかります。4年間安心して勉強してもらうために48万円送りました。その他経費がいります。皆さんからのご寄付もいただきますが、2ヶ月に一度バザーをしています。大阪北生協様のご厚意で東豊中店でさせていただいています。全国から送られてくる荷物の中からバザーに出せる物に値段をつけ出品します。バザーの日も決まっておりますので、10時からですのに朝早くから待ってくださっています。うれしいことは、常連のお客さんも増え楽しみに待っていてくださり、時には、お客さんも商品を出すのを手伝ってくださるときもあります。今では一回に20万～30万円の売上があり、これが財源になっています。

これもひとえにみなさんのおかげと会員一同感謝しています。

\*\*\*

＝ 第30回日本区記念大会＝

日時：1997年6月7日(土)～8日(日)

場所：愛知芸術文化センター、お礼ナガサキ

登録費：13,000円(3/31迄)、15,000円(4/1 以降)

チャーター料：12,000円 (\*詳細は後述を参照下さい。)

「大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ」

チャーターナイトに出席して

福永 嘉彦

国内のみならず国際的にも注目を浴びた「大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ」が、茲に産声を挙げられたことを皆さんと共に慶祝したいと思います。日本初の女性クラブの誕生は、今後の発展と活躍に多くの期待が集められているだけに、誠に大きな意義あることであります。当日出席された方がどなたも、このチャーターナイトに充満していたウイメンズパワーを実感されたことは、宜(い)なる哉と言えましょう。

受付で渡された、クラブバナーを表紙にあしらったプロシユアにしても、芸術的でユニークな作品のみならず、そこに溢れている新鮮な活気をひしひしと覚えて、期待に胸を弾ませたものです。

記念礼拝ではキャンドルの入場の後、そこで読まれた主イエスのみことばに、このクラブが目指す“愛の奉仕の精神を汲み取ることが出来ました。”みんなの願い—祈りの花束”の朗読と聖歌隊による「アッシシの聖フランシスコの平和の祈り」が、一層雰囲気盛り上げ、正面テーブルに点されていたキャンドルの炎をチャーターメンバー一人一人が次々に自分のキャンドルに点火して、派遣の言葉が述べられました。何という素晴らしい企画でしょうか。

第2部では、スポンサークラブ会長の挨拶、実行委員長の設定経過報告に続いて、認証状が日本区理事より伝達され、この式は最高潮となりました。日本区理事を始め、お二人の来賓の祝辞を頂いた後のクラブバナーの披露では、如何にも女性クラブらしい繊細なセンスが、美しく飾られた野バラに滲み出ていました。杉浦真喜子会長の挨拶には“響きあう心と心で”という標語の実現に向けての強い意欲が感じられ、それと同時に準備段階から強調されていた“ミャンマーの女性の自立を助ける”使命に、出席者一人一人が頼もしい期待を寄せられたことと思います。力強さの中に人間味豊かな温か味を感じるご挨拶に耳を傾けました。

弦楽合奏に始まった第3部では、食前感謝と乾杯の後、賑やかに食事歓談があり、ゲストスピーチ、出席者一同の合唱などで盛り上がりました。最後に感謝のことばがあり、約3時間に亘るチャーターナイトは盛会裡に終り、参列者一同「なかのしま」クラブの今後の発展を祈りつつ散会しました。

出席者数：189名、出席クラブ：43クラブ。

真嶋克成氏よりのご挨拶

(97年2月26日)

センテニアルワイズメンズクラブの皆さんへ

— 長らくごぶさたしています。メン・メネットの皆さんいかがお過ごしですか。

先月には長年の夢でありました女の赤ちゃんが誕生しましたね。「大阪なかのしまクラブ」という名前をつけられおめでとうございます。

大阪センテニアルワイズメンズはまさに大阪なかのしまクラブを得たことにより、益々その活動を豊かなものにしていくことと期待しています。おとうさんとお母さんの名前が少し外国人のようなグローバルな名前前でしたので、子供は地域性を生かしたローカルな名前になりましたがいいですね。最近の“Thinking Globally, acting locally”「地球的視野で考え、地域で活動する」ということでしょうか。

大阪センテニアルワイズが長年国際協力や地域奉仕活動に携わってこられたことに対し感謝しています。これからも親子共々その活動を期待しています。

私は、昨年末に34年間勤めていましたYMCAを退職し、今は大阪青年会議所が提唱して生まれた「大阪NPOセンター」の立ち上げりに事務局で関わっています。NPOは“Non-Profit Organization”とあって、非営利組織の民間団体とされています。昨今国会でも「市民活動促進法(通称NPO法)案」の審議がされ、市民活動促進のための機運が高まっています。特に阪神・淡路大震災後のボランティアに対して注目されたり、急激な高齢社会に対する対応、高齢者介護などの福祉面の対応や国家・行政の範囲でなかなかカバーできない面に対しての市民団体やボランティア団体の係わりが注目されています。多元的で多様な考えを持った人たちが調和し、共に生きる社会を創設するためにもあらためて市民が主体の市民社会をどう作っていけばいいかが21世紀を迎える私たちの課題です。もともとYMCAはNPOやNGO(非政府機関)でありますし、そのリーダー的な役割を果たしてきました。

これからの社会がYMCAに何を期待しているかを見据え、そしてそのなかで会員である私たち、ワイズメンズクラブは何ができるかを共に考え活動することができれば幸いです。YMCAであっても他の市民団体であっても今日の状況を見ると非営利・非政府組織の市民団体の運営は大変です。人「お金」情報「スペース」が市民団体やボランティア団体にとっての課題です。特に財政的な面です。大阪NPOセンターが市民活動の基盤強化、ボランティア活動の促進そして行政や企業との新しいパートナーシップの構築を目指して誕生しましたが、市民団体・企業・個人会員(軽部)や購読会員(3冊)の会員と共に具体的に目に見えた活動を着実に進めていきたいと願っています。

ぜひ一度お越し下さい。皆様方のご理解とご支援をお願いします。(大阪NPOセンター事務局長)

\* 大阪北区末広町3-11 天沼ビル 9F (☎ 06-361-5307)

(注: 紙面の都合上、一部省略した。息がはずれては、)

## ◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;  
We raise our hand, Our service pledge renewing,  
Ne're to deny our motto's claim,  
Y's Men in fact as well as name,  
Always our objects to pursue,  
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて  
とおきも ちかきもみな  
ささげて 立つやワイズメン  
さかえと ほまれゆたか  
まことは 胸にあふれん

## ☺ニコニコ・メッセージ☺

- ◎すばらしい例会で、すばらしい VIDEO, そしてすばらしいお話。ありがとうございますの気持ちをフィリピンに伝えたいと思います。・・・中西部長 今村一之
- ◎「なかのしまクラブ」のC.N.には、たくさんの方にお手伝いいただき、ありがとうございました。センテニアルの子クラブとして、恥かしくないクラブになりたいと思います。  
・・・なかのしまクラブ会長 杉浦真喜子
- 今村中西部長さん、ご同行の土佐堀クラブ員の方ご出席有難うございました。  
・山村メネット、良いお話を聞かせて頂きました。シスター海野のビデオ大変感動的なものでした。有難うございました。・・・秋月利英
- 山村様の卓話感銘いたしました。恵まれた日本の昨今、大変反省いたしました。何か出来る事を考えてみたいと思います。・・・池永栖子
- 山村メネットさん、素晴らしいお話し有難うございました。・・・池永洋宣・美智子
- Y'sのCSの精神をそのまま実行に移したようなシスターの行動力には頭が下がりました。  
「出来ることからやりなさい」の言葉に元気づけられる思いです。・・・栗山佳三
- 山村利子メネットさん、フィリピンバギオ市に行かれたお話とビデオ、大変興味深く拝見しました。今後とも素晴らしいボランティア活動をお続け下さい。  
・・・柴田 健
- 断食月の例会にふさわしいフィリピンへの支援のビデオと「からし種」のボランティアに感動しました。「一人ひとりに出来ることから」の奉仕の精神はワイズの根本でもあります。私も3/22 箕面国際交流協会にて「私たちにできることは？」でNGOの話をする予定です。・・・角 正信

## = 3月第2例会 =

日時：1997年3月26日(水) 6:30~8:30 p.m.  
場所：大阪グランドホテル

(ニコニコ・メッセージ 献)

- 入院-退院-全快の感謝と今夜の山村メネットのお働きを感謝して。・・・鈴木謙介
- 2ヶ月、例会を欠席致し失礼しました。今夜は山村メネットがバギオに出かけた色々の活動を伺い感銘致しました。私達も何かお役に立つ事にお手伝いをしたいと思ひました。・・・鈴木美藤
- バギオでのシスターのお働き、山村メネットのご奉仕活動の大きさに感動いたしました。「からし種の会」に私もお届けしたいと思ひます。・・・隅田恵子
- 山村利子さんのボランティア活動についてのお話はTOFにふさわしいものでした。感謝です。  
・・・田中櫻二
- 山村メネットさんのお話、そしてウンノ・シスターのビデオで多くのことを学びました。私はバギオにも行ったことありますが、このような歴史と働きがあること知りませんでした。・・・谷川 寛・有美子
- 山村メネットさん、貴重な御話しをありがとうございました。・・・津田葉清政
- 山村さんのご努力も素晴らしいです。私もできる事から始めたいです。・・・中村幸枝
- 感銘深いビデオとお話有難うございました。  
・・・長瀬由香子
- 山村メネットの貴いご奉仕に感謝。シスター海野のお働きを見せて頂き、神様の御用を献身的になさるお姿に感激しました。生き甲斐を感じ乍ら生きる自分の出来る小さな事から始めるというこのお言葉を心にとめて行きたいと思ひます。  
・・・福永嘉彦・滋子
- 山村メネットの卓話、60才からでも大きな仕事ができることを教わりました。大変有難うございました。・・・藤原正巳
- 今村部長、水口さん、田中さん、ようこそおいで下さいました。  
・山村メネット達の地味ながら立派な活動に敬意を表します。・・・三浦直之
- センテニアルの長い間の念願がかなえられ、「なかのしまクラブ」のチャーターが実現出来ました。皆様のお支えと神様のお導きに感謝です。  
・・・山田孝彦
- 下手な家内の卓話のチャンスあたえて下さいまして感謝。  
・・・山村幸明

[編集後記] 祝「なかのしまクラブ」のチャーター。関係の方々御苦労様でした。さあ、お互い梅花を愛でつつ春への希望に燃えて歩みましょう。(Y.F.)